

愛寿会 たより

6 月号
第 84 号
平成 18 年
6 月 1 日発行



【JR 小海線甲斐小泉駅からの風景】

北杜市の高齢者福祉について

平成十八年三月に、小淵沢町との合併により、『人と自然が躍動する環境都市』新「北杜市」が誕生しました。雄大な八ヶ岳南麓の豊かな自然環境に恵まれた四季を通じて自然とふれあうことができ、また、高齢者にも非常に住みやすい快適な地域であります。

本年四月に、明るく活力ある超高齢社会の構築、制度の持続可能性と社会保障の総合化を基本的視点に介護保険制度も見直され、介護予防の重視、地域密着型サービスの創設など大幅な制度改正が行われました。

また、この改正を踏まえて、県においては、新たな「健康長寿やまなしプラン」を、北杜市は「ほくとゆうゆうふれあい計画」をそれぞれ策定し、この四月から高齢者施策の展開を図っているところであります。

これらの計画は、高齢者一人ひとりの状態に即したきめ細かなサービスを可能にするためのものであります。

北杜市の計画策定にあたって寄せられた市民の意見も、制度をうまく活用して快適に過ごされている高齢者も多くいる一方で、サー

山梨県長寿社会課

課長 竹村 正美

ビスへの不満がある、制度がわかりにくい、将来が不安など、様々であったと伺っております。

北杜市は、高齢化率が二十六・七%と一人が高齢者となっております。

高齢者の不安を解消していくためには、生涯を通じて健康で生きがいのある充実した生活や、介護が必要になった場合でも、住み慣れた地域での生活を継承し、安心して暮らすことができる地域社会を形成していかねばなりません。

そのためには、高齢者を取り巻く家族、地域、行政、関係団体などが、密接に連携して地域の資源を活用し、地域の介護力を高めることが必要です。

北杜市内には、介護サービス事業所が豊富にあり充実しています。

御会「高齢者総合生活支援センター仁生園」は、伝統と築き上げられた実績により、この地域に住む高齢者にとっての安心のよりどころとなっております。

これからも御園が地域の核として、この地域の高齢者の皆様が良質で多様な介護サービスが受けられるセンターとして、更なる介護力の向上に努められますようお願いするところであります。

結びに皆様のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

料金後納郵便

佐川物流サービス(株)

返送先: 〒140-0012
品川区勝島 1-1-1

差出人(差出発送代行)
7-4

冊子小包

このお荷物はご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となつて発送代行しています。

— 平成十七年度事業報告 —

利用者に「安全で安心した生活」「その人らしい生活」「できる限り在宅に近い生活」の提供を目指し、グループケアによる利用者本位のサービスの実践に努力した。

また、本年度も各事業のベッド稼働率・利用率の向上は勿論のこと、派遣職員の雇用・水道光熱費・オムツの見直し等により経費節減に努めた。

1. 社会福祉法人 愛寿会

① 役員会の開催

理事会 …… 年 4 回 監事監査 …… 5 月
評議員会 …… 年 2 回

② 法人減免の実施

利用者総数 …… 32 名 6 市町村
減免総額 …… 2, 365, 318 円
補助金額 …… 882, 000 円
法人負担額 …… 1, 483, 318 円

③ 介護報酬の請求

停滞なく請求でき、過誤・返戻も最小限となっている。

④ 派遣職員の雇用

定数以上の職員については、人材派遣会社を活用することとし、事務職一名、看護師一名、ケアワーカー十三名を雇用した。又、派遣職員の中から、欠員補充の仁生園嘱託職員として三名を採用した。

⑤ 苦情解決相談

愛寿会が提供するすべての事業の苦情に對して、窓口担当者・解決相談責任者・自己評価委員会又第三者による苦情解決相談委員会

⑥ 情報の開示

を設けていたが、委員会開催までの苦情はなかった。

財務状況・監査状況等を園内に掲示するとともに、毎月発行する「愛寿会だより」により自主的に情報開示を行った。又、山梨県の情報開示調査モデル事業として協力した。

⑦ 日常の心得の追加

これまで五つの「日常の心得」に二つ加え、七つとした。

⑧ ホームページの作成

平成十八年四月の開設に向け、研究・作成をした。

⑨ 嘱託医の変更

向井嘱託医から溝口嘱託医に、スムーズに変更することができた。

⑩ 新事業の申請

介護保険法の改定に伴う「介護予防事業」「障害者福祉サービス事業」の実施事業所としての指定を受けた。

⑪ 発展計画委員会の開催

平成十六年度から六回の委員会を開催し、身体障害者療護施設「第二仁生園」の整備構想とこれからの愛寿会発展計画について意見をまとめ理事長に答申した。

⑫ 職員研究会の成果

十二の研究部会及び各委員会によりサービスの向上に取組んだ結果、十七、十八年度の介護報酬の減額を最小限(減額なし、6加算)に抑えることができた。

2. 特別養護老人ホーム仁生園 定員 …… 132 名

平均入所者数 …… 127.9 名
ベッド稼働率 …… 97.7 %

平均介護度 …… 3.36

* グループケア ↓ これまでの利用者二十名から十五名以内にする事により、これまで以上に「目配り」「気配り」が行き届き、一人ひとりのニーズに沿った支援ができるようになった。

* 徹底した感染症対策 ↓ 年間通し風邪・ノロウイルス等の対策のため、施設内の消毒を一日二回ずつ実施するとともに、手指消毒・うがい等を徹底した。

* リスクマネージメント ↓ 介護事故等を未然に防ぐために、ケアプランの作成段階からあらゆる危険性について家族とともに話し合い、同意の上で提供するようにした。又、「ヒヤリハットノート」の活用(年間76件)により、事前に気づくことができるようになった。

* 怪我等発生件数(県等報告) 4件 ↓ 前年度6件
* 入所者のつどい ↓ 入所者の意見を聞く場・話し合いの場として年六回実施し、サービスの改善に役立てた。

3. ショートステイセンター

(短期入所生活介護) 定員 …… 13 名
法人独自のセミロングステイを含め、一日平均 10.44 名を達成した。

4. デイサービスセンター(通所介護)

通常の事業に加え、障害者デイ・自立デイ事業を一年を通して土曜・祝日、又年末も実施し、年間実施日 276 日、平均利用者数 18.5 名を達成した。

5. グループホーム「やすらぎ」

（認知症対応型共同生活介護）定員：9名
家庭的な雰囲気大切に、その人らしい生活を送っていただくように努めた。

平均入所者数：8.77名
入居率：.....97.5%

6. 介護相談センター（居宅介護支援事業所）

職員二名により年間1,179件の居宅サービス計画の作成を行うとともに、デイサービス・ショートステイの顧客発掘にも努力した。

7. 生活支援ハウス「こあらま」

（ケア付き住宅） 定員9名

行事への参加・食事の提供・二十四時間対応等総合老人福祉施設併設のメリットを充分活かしたケア付き住宅として、平均7.1名が利用した。

8. その他

* 安全対策

毎月一回以上「安全対策委員会」「防災対策委員会」を開催し、防災・震災・介護事故・食中毒・感染症・個人情報情報の保護等あらゆる危機に対して検討、対応、訓練を実施してきた。又、職員全員で「セーフティードライブチャレンジ200」に参加し、安全運転に努めた。

* 食事の充実

年間を通して、利用者が選択できる二種類の献立を実施した。又、個人ごとのケアプランに加え「栄養ケアマネジメント」も定着させることができた。

* 職員の育成

毎週月曜日の実践研修報告会、年二十四回のケア研修会を開催するとともに、施設外開催の勉強会に積極的に参加し、報告勉強会も実施した。

* 介護保険改定による再契約

年二回の介護保険法の改定により、利用者への説明・再契約が必要となったが、施行前にはすべて終えることができた。

— 理事会・評議員会開催 —

第百六十五回理事会並びに第十二回評議員会が、五月二十六日に開催され、次の事項について協議されました。

- 一. 平成十七年度事業報告について
- 二. 平成十七年度一般会計収支決算について
- 三. 監事監査報告
- 四. 愛寿会発展計画の進捗状況について
これまでの進捗状況及びこれからの予定等が報告・説明されました。
- 五. 役員の変更について
任期満了に伴う「理事」「評議員」「監事」「顧問」の改選について、理事長に一任されました。

— 監事監査報告 —

監査結果

(一) 事業報告は、法令及び通知に従い、当会の事業の執行状況を正しく示し、不適正の点はないと認めます。

(二) 財産目録は、法令及び通知に従い、当会の財産を正しく示し、不適正の点はないと認めます。

(三) 貸借対照表は、法令及び通知に従い、当会の資産と負債の状況を正しく示し、適正と認めます。

(四) 資金収支計算書及び事業活動収支計算書は、法令及び通知に従い、当会の収入と支出の状況を正しく示しているものと認めます。

監査実施内容

一. 法人の運営 小松 照正 監事

(小松会計事務所 所長)

1. 財務計算は社会福祉法人会計基準により処理されており、貸借対照表と資金収支計算書及び事業活動収支計算書のそれぞれ照合すべきところは正確と認めました。

2. 資金管理は経理規定に基づき収入支出、すべて預金口座で出納しています。各預金は、預金残高証明書により残高確認しています。小額の支出は、小口現金前渡制度により記録し、一定期間ごとに明細書を作成報告の上、資金補充していることを確認しました。

3. 給与の支給は各人の預金口座へ給与振替支給制度で正確適正に行われています。各人ごとの計算明細書だけでなく、一覧表示表により控除差引額の預り金等もわかりやすくすることが望ましいと思います。

4. 帳票及び証憑書類の保管管理は適正ですが、法令及び事務規定に従い整理、保存、廃棄等につき、個人情報保護に万全の留意の上、計画的に処理することが必要です。

二. 事業の運営

坂本 ちづ子 監事

(星の里 施設長)

1. 環境を整え、健康と安全に配慮しながら余暇の充実を図るなど、生活全般にわたって快適に過ごせるよう、法人全体で実践している様子が、それぞれの居住現場を視察、説明を聴き実感できました。
2. 施設を利用される方々が、若い者にいつまでも刺激を与えられるような人生を送ってほしいものです。お世話させてもらう職員が、人生の先輩からたくさんのご意見を学ぶ姿勢を忘れず、向き合い、寄り添いながら、声なき声を拾い上げる努力や工夫を一層深めたいものです。
3. 法律の制度もめまぐるしく変わる現在、歴史ある社会福祉法人として様々の分野との連携と組織の向上を図り、模範となるよう一層の努力を希望します。

―― 五月の行事から ――

葦崎東中学校 介護体験

五月九日に葦崎東中学校の生徒のみな様が、介護の仕事について体験を交えながら学習を行いました。

当初、初めてのことでばかりで緊張した様子でしたが、介護の補助をしていくうちに、この仕事の楽しさを知ったようでした。

また、介護という職業について、それぞれに感じるものがあつた様です。

野点

五月の明るい陽射しの中、この時期恒例となつております野点が行われました。赤

い日よけの傘が立てられ、木漏れ日の下、みな様ゆったりとした気持ちで、職員が点てたお茶とお菓子を楽しまれていました。



【中庭に差し込む日差しの下で】

天理教北巨摩支部 奉仕活動

四月三十日、天理教北巨摩支部のみな様による奉仕活動が行われました。

親子連れで早朝よりお集まりいただき、三手に分れ、窓拭き、植木の剪定等日ごろ手の届かないところを重点的に作業していただき、建物、植木等も瞬く間に美しくなりました。

お忙しい中、当園のためにありがとうございます。



【中庭の植木を剪定している様子】

ご家族のみな様へお願い

ご登録いただいた緊急連絡先または医療保険証に変更がある場合には、仁生園までご連絡ください。

担当 相談員 坂本 仁

ご芳情 (五月一日～五月三十一日)

- ・北杜市 金曜会
 - ・北杜市 望の会
 - ・北杜市 保坂 多枝子
 - ・北杜市 山鳩の会
 - ・北杜市 絵手紙クラブ
 - ・レクボランテアほがらかグループ
 - ・天理教北巨摩支部
- 利用者状況 (五月末現在)
- 様 様 様 様 様 様 様

仁生園入居者	平均年齢	一三二名
ショートステイ	利用状況	八十三・六歳
デイサービス	利用登録者	一日〓九・四五名
グループホーム	やすらぎ	長坂町・他市町村 一一一名
生活支援ハウス	こあらま	七名

仁生園のサービスに何かご意見、ご要望や苦情などございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340

担当 清水 俊彦